

Nikon

F10

使用説明書

J

安全上のご注意

ご使用の前にこの使用説明書をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使い下さい。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

警告



見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害になることがあります。



電池を取る



すぐ修理依頼を

発熱、発煙、焦げ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると電池が破裂し、ケガの原因となります。

電池を取り出す際、火傷に十分注意すること。

電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼して下さい。



使用禁止

可燃性ガスの雰囲気の中で使用しないこと

爆発、火災の原因になることがあります。



警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息することがあります。

注 意



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
異常動作をしてケガをすることがあります。



接触禁止



すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
破損部でケガをすることがあります。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼して下さい。



水かけ禁止

水につけたり水をかけたりしないこと
電池が破裂、発熱し、ケガの原因となります。



放置禁止

製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること
ケガをしたり付属品や電池を飲み込むおそれがあります。

注 意



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光がレンズに入射し、発火の原因となります。



移動禁止

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

転倒したり、ぶついたりしてケガの原因となります。



使用注意

使用説明書に表示された電池を使用すること

発熱、発火の原因となります。



歩行禁止

ファインダーをのぞきながら歩かないこと

つまずいたり、転倒したりしてケガの原因となります。

注意



禁止

電池を火に入れたり、ショート、分解、加熱をしないこと
破裂、発火の原因となります。



使用注意

電池に表示された警告・注意を守ること
破裂、発火の原因となります。



発光禁止

目の近くでスピードライトを発光しないこと
一時的な視力障害になることがあります。



はじめに

このカメラは、小型軽量のTTL開放測光のマニュアルフォーカス一眼レフカメラです。自動露出及びマニュアル露出を装備し、シャッターボタンの半押しによるファインダー内左横に見える露出表示をもとに、撮影意図に合わせた露出が簡単に得られます。



■保証書とご愛用者カードについて

この製品には、保証書とご愛用者カードが付いていますのでご確認ください。

…保証書の詳細は、「アフターサービスと保証について」(P44)をご覧ください。

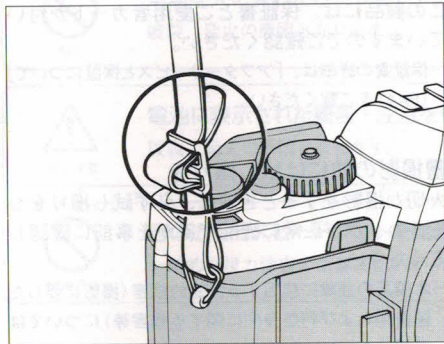
■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

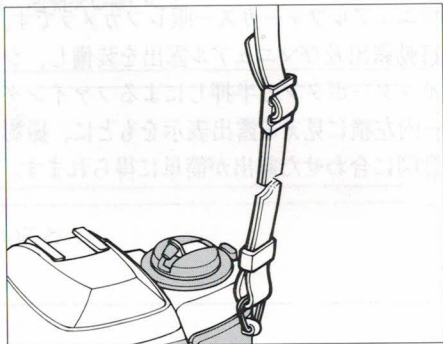
…本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および利益喪失に関する損害等)については補償いたしかねます。

ネックストラップの取り付け方

付属のネックストラップは、下図のように取り付けてご使用ください。



- 1** 三角環を吊り金具に通し、ストラップを取り付けます。
…必ずストラップの先端が内側になるように取り付けてください。

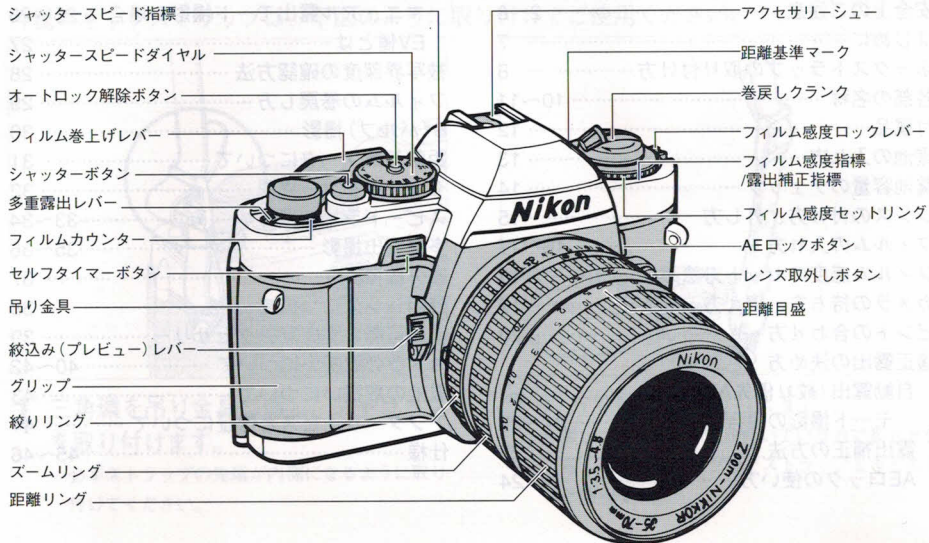


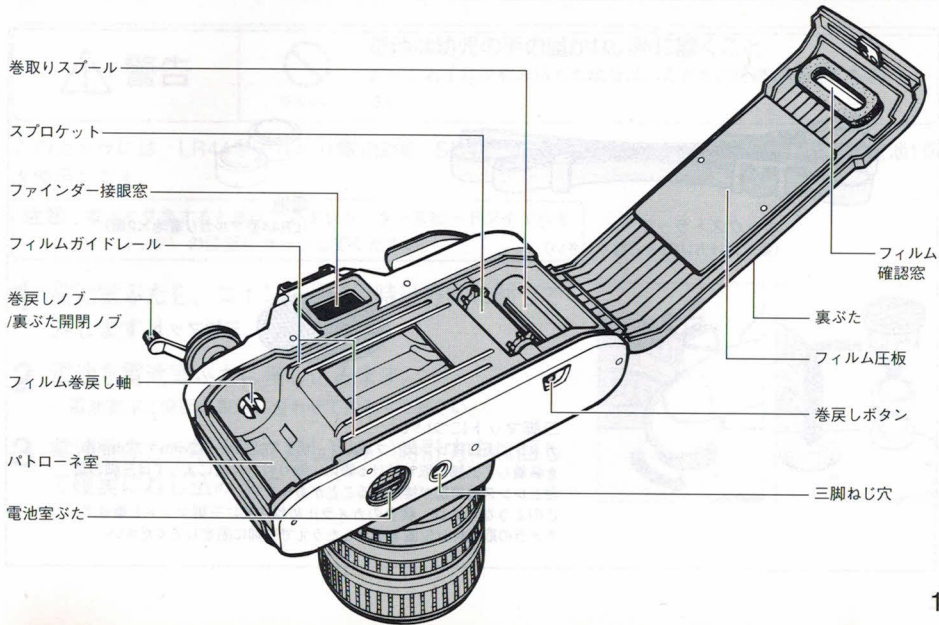
- 2** 片方で長さを調節します。
…黒いプラスチック環が付いている方で長さを調節し、プラスチック環でストラップをまとめると便利です。

目次

安全上のご注意	2~6	マニュアル露出モード撮影の場合	25~26
はじめに	7	EV値とは	27
ネックストラップの取り付け方	8	被写界深度の確認方法	28
各部の名称	10~11	フィルムの巻戻し方	29
付属品	12	B(バルブ)撮影	30
電池の入れ方	13	距離基準マークについて	31
電池容量のチェック	14	セルフタイマー撮影	32
レンズの付け方、外し方	15	スピードライト撮影	33~34
フィルムの入れ方	16~17	多重露出撮影	35~36
フィルム感度のセット方法	18	赤外線撮影	37
カメラの持ち方、構え方	19	使用レンズについて	38
ピントの合わせ方	20	使用可能な別売りアクセサリー	39
適正露出の決め方		カメラの取扱いについて	40~42
自動露出(絞り優先AE)		電池の取扱いについて	43
モード撮影の場合	21~22	アフターサービスと保証について	44
露出補正の方法	23	仕様	45~46
AEロックの使い方	24		

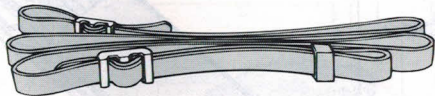
各部の名称





付属品

カメラ専用ケース



ネックストラップ
(取り付け方はP8をご覧ください)



電池
(LR44型アルカリ電池×2個)



三角環



三脚マット

三脚マットについて

カメラに大口径レンズ（フィルターサイズ62mm・72mm・77mm等）を装着して三脚に取り付ける際に、取り付け位置によっては三脚の雲台とレンズ鏡筒部が接触することがあります。

このような場合は、雲台のカメラ止めねじ部に三脚マットを乗せて、カメラの取り付け位置を高くしたうえで三脚に固定してください。

電池の入れ方



警告



放置禁止

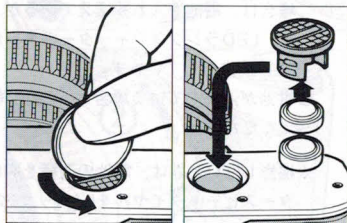
電池は幼児の手の届かない所に置くこと

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

このカメラには、LR44型アルカリ電池2個、SR44型銀電池2個またはCR-1/3N型リチウム電池1個を使用します。

注意 電池を交換するときは、必ずシャッタースピードダイヤルをL（ロック）の位置にセットしてください。

- 1** 電池室ぶたを、コインなどで反時計方向に回して外します。
- 2** 電池を電池室ぶたに差し込みます。
…電池室ぶた側面の表示に合わせて入れてください。
- 3** 電池室ぶたを電池室に差し込み、時計方向に回して確実にねじ込みます。



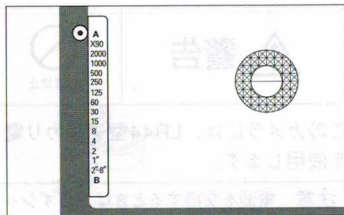
電池容量のチェック

- 1 巻上げレバーを巻き上げます。
- 2 シャッタースピードダイヤルをL(ロック)以外にセットします。
- 3 ファインダー接眼部をのぞきながら、シャッターボタンを軽く押し(半押し)ます。

…ファインダー内左側に、赤いLEDランプのどれか1つが点灯していれば、電池容量はOKです。ひとつも点灯しない場合は、電池を入れ間違えているか、電池が消耗しています。LEDランプはシャッターボタンから指を離してから約20秒間点灯しています。

●電池が消耗している場合は、2個とも新しい電池と交換してください。

※撮影しないときは、電池の消耗を避けるため、必ずシャッタースピードダイヤルをL(ロック)の位置にセットしておいてください。

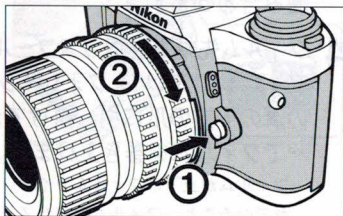
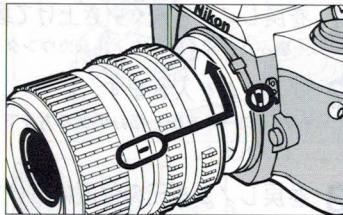


レンズの付け方、外し方

- ・レンズの着脱は、直射日光を避けて行ってください。
- ・レンズを取り付ける際は、レンズ取外しボタンを押さないように注意してください。

1 カメラの白点マークとレンズの距離指標を合わせ、レンズを反時計方向にゆっくり回します。
…カチッと音がするまで回してください。

2 レンズを取り外す場合は、レンズ取外しボタンを押しながらレンズを時計方向に回して外します。



フィルムの入れ方

フィルムの出し入れは、直射日光を避けて行ってください。

フィルムの出し入れの際に、指先やフィルムの先端がシャッター幕に触れないように注意してください。

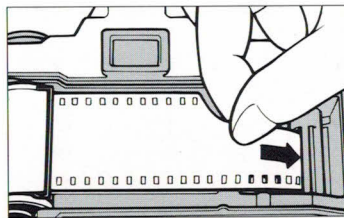
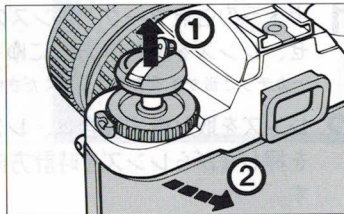
1 巻戻しノブを強く引き上げて裏ぶたを開きます。
…裏ぶたが開くと、フィルムカウンターは“S”になります。

2 フィルムを入れます。
…パトローネを出っ張りのある方を下にして、パトローネ室に入れます。

3 巻戻しノブを元の位置に下げて、パトローネに噛み合わせます。

4 フィルム先端を巻取りスプールの溝に差し込み、フィルムの穴（パーフォレーション）をスプールの溝の下方の爪に引っ掛けてから、巻上げレバーでフィルムを巻き上げます。

…フィルムが上下のフィルムガイドレールの間に正しく置かれていること、フィルムの穴がスプロケットの歯に噛み合っていることを確認してください。



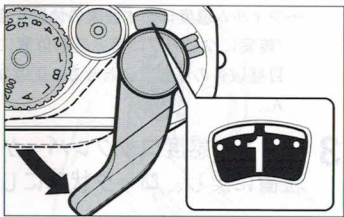
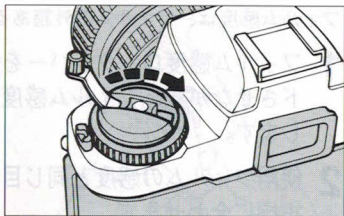
5 裏ぶたを、パチンと音がするまで静かに押して閉じます。

6 巻戻しクランクを矢印の方向にゆっくり回して、フィルムのたるみを無くします。

…クランクを回す力が重くなったら、フィルムのたるみがない状態です。

7 巻上げレバーを巻き上げてシャッターをきる動作(空送り)を繰り返して行い、フィルムカウンターが“1”になるまでフィルムを巻き上げます。

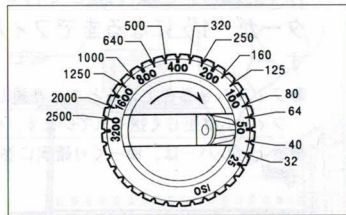
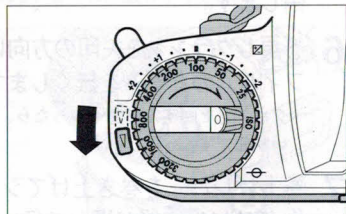
- フィルムを巻き上げるとき、巻戻しノブが回っていれば、フィルムは正しく送られています。必ず確認してください。
- 巻上げレバーは、ゆっくり確実に巻き上げてください。



フィルム感度のセット方法

フィルム感度は、フィルムの外箱あるいは使用説明書に明記されています。

- 1** フィルム感度ロックレバーを矢印方向にスライドさせながら、フィルム感度セットリングを回します。
- 2** 使用フィルムの感度と同じ目盛をフィルム感度指標に合わせます。
…フィルム感度は必ず目盛の位置を指標に合わせてください（確実にクリックに落ち込む位置にセットしてください）。目盛以外の位置に合わせると正確な露出表示が得られません。
- 3** フィルム感度ロックレバーから指を離して元の位置に戻し、ロック状態にします。



カメラの持ち方、構え方

- ・左手はカメラの底を支え、左手の親指と人差し指で距離リングを回せるように持ちます。
- ・右手はグリップを軽く握り、人差し指をシャッターボタンにかけます。
- ・両手のひじを軽く体につけ、カメラを額につけてファインダー接眼部をのぞきます。

※望遠レンズ使用時あるいは低速シャッタースピード使用時は、手ぶれを防ぐため、三脚、ケーブルリリース等のご使用をおすすめします。



ピントの合わせ方

ピントは、ファインダー中央の二重円内で合わせます。内側の円はスプリットイメージプリズムに、その外周はマイクロプリズムになっています。

ファインダー全体のマット面でもピント合わせができます。…ピント合わせ方法は、被写体や使用レンズなど撮影状況に応じてお選びください。

1 ファインダーをのぞき、レンズの距離リングを回します。

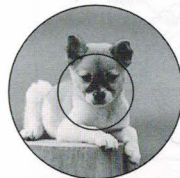
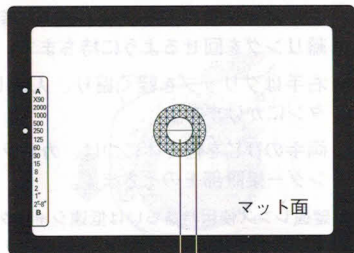
●ピントが合っている状態

被写体の像が一致し、はっきり見えればピントが合っています。

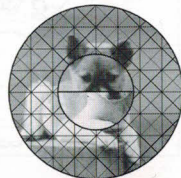
●ピントが合っていない状態

被写体の像が左右にずれている場合、または像がくずれてちらちらした感じの場合は、ピントが合っていません。

※このカメラのファインダー視野率は約93%です。実際に写る範囲はファインダーで見える範囲より若干広くなります。



ピントが合っている



ピントがずれている

適正露出の決め方

自動露出(絞り優先AE)モード撮影の場合

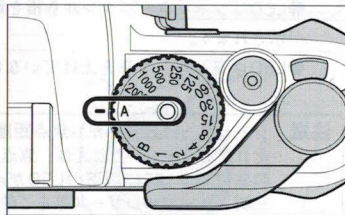
自動露出(絞り優先AE)モード撮影では、絞り値をセットすると、被写体の明るさに応じて、カメラが自動的に適正なシャッタースピードを決定します。ポートレートや風景写真など、被写界深度を生かした撮影に適しています。

絞り値は被写体の明るさ、被写界深度のとり方、使用フィルム感度などによって選びます。ISO100のフィルム使用時の絞り値の目安は、表の通りです。

- 1 オートロック解除ボタンを押しながらシャッタースピードダイヤルを回して、“A”をシャッタースピード指標に合わせます。
- 2 レンズの絞りリングを回して、希望の絞り数値を指標に合わせます。

撮影状況	絞り (F)
薄暗いとき	F1.4~F2
被写界深度を浅くしたい場合	F1.4~F2
被写界深度を深くしたい場合	F11~F16
一般的な室内	F2~F4
曇天の屋外	F4~F8
晴れた屋外	F8~F11
真夏の海辺	F11~F16

(50mm/F1.4レンズ装着時)

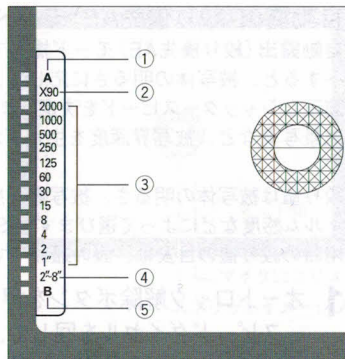


適正露出の決め方

3 ファインダーをのぞき、ピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

- ファインダー内にAおよび適正シャッタースピードを示す赤いLEDが点灯します。
- LEDは、被写体の明るさにより、また、レンズの絞りリングを回すと上下に変化します。
- 露出オーバーの場合は2000のLEDが点滅します。そのときは、絞り値を大きい数値にします。
- 2"~8"のLEDが点灯時は、約2~8秒になります。
- LEDはシャッターボタンから指を離してから約20秒間表示されます。
- LEDはフィルムを巻き上げていない場合は表示されません。

注意 シャッタースピードが1/焦点距離以下では手ぶれのおそれがあります。たとえば、焦点距離135mmのレンズ装着時に1/125秒以下のLEDが点灯している場合は、三脚、ケーブルリリース等をご使用ください。

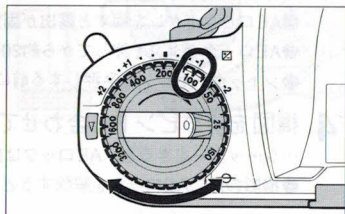
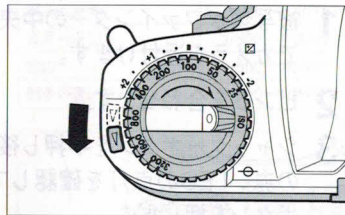


- ① オート表示
- ② スピードライト同調速度目盛
- ③ シャッタースピード目盛
- ④ 2~8秒表示
- ⑤ バルブ表示

露出補正の方法

特殊な光線状態—逆光での撮影や、主要被写体（人物）と背景とに極端な明暗の差がある場合などには、そのままシャッターをきると適正露出が得られないことがあります。このような撮影時には、フィルム感度をセットし直すことにより、±2段（1/3ステップ）の範囲内で露出補正が可能です。

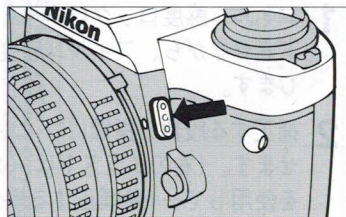
- 1 フィルム感度ロックレバーを矢印方向にスライドさせながら、フィルム感度セットリングを回します。
- 2 補正する段数の指標にフィルム感度目盛を合わせます。（右のイラストは、ISO100のフィルムを使用して-1段補正する場合です）
 - フィルム感度は必ず指標に合わせてください（確実にクリックに落ち込む位置にセットしてください）。指標以外の位置に合わせると正確な補正効果が得られません。
- 3 フィルム感度ロックレバーから指を離して元の位置に戻し、ロック状態にします。



AEロックの使い方

AEロックは、自動露出（絞り優先AE）モード撮影の際に用いる露出の補正方法です。AEロックボタンを押すと、そのときの露出が記憶され、ファインダー内のLED表示も固定されます。AEロックボタンをもう一度押すと、記憶は解除されます。

- 1 被写体がファインダーの中央を大きく占めるまでカメラを近づけます。
- 2 ピントを合わせます。
- 3 シャッターボタンを半押し後、ファインダー内の赤いLEDの点灯を確認してから、AEロックボタンを押します。



- AEロックボタンを押すと露出が固定され、AのLEDが点滅している間は保持されます。
 - AEロックボタンを押してから約20秒が経過すると、Aの点滅が消え、AEロックは解除されます。
 - シャッターボタンを半押しする前にAEロックボタンを押しても、露出は固定されません。
- 4 構図を決めピントを合わせてから、シャッターをきります。
…シャッターをきると、AEロックは自動的に解除されます。
 - 撮影の前にAEロックを解除するときは、AEロックボタンをもう一度押してください。

適正露出の決め方

マニュアル露出モード撮影の場合

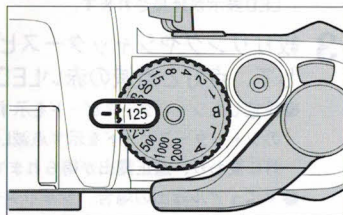
ISO100フィルム使用時のシャッタースピードの一般的な目安は、表の通りです。

- シャッタースピードは、被写体が明るく動きが速いほど、また使用フィルム感度が高いほど、高速にセットします。
- …望遠レンズ装着時は、手ぶれの影響が大きいので、できるかぎり速いシャッタースピードを選んでください。

1 シャッタースピードダイヤルを回して、希望のシャッタースピードをシャッタースピード指標に合わせます。

- “A”から他のシャッタースピードの位置に設定する場合は、オートロック解除ボタンを押しながら回してください。
- シャッタースピードダイヤルは目盛の中間位置で止めて使用すると正確なスピードが得られません。カチッと音がするクリック位置にセットしてください。
- B（バルブ）にセットしたときは、露出表示は使用できません。また、L（ロック）にセットすると、シャッターはきれません。
- シャッタースピードの目盛は、“2000”は1/2000秒を、“1”は1/1秒を、“B”はバルブ撮影を表わしています。

撮影状況	シャッタースピード(秒)
薄暗くて、静止している被写体	1~1/15
一般的な室内	1/30~1/60
晴れた屋外	1/125~1/250
真夏の海辺	1/500~1/2000
雪山	1/500~1/2000
動きの速い被写体	1/500~1/2000



適正露出の決め方

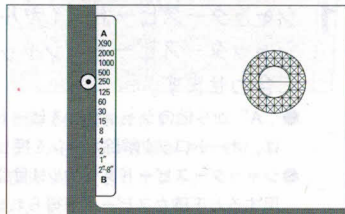
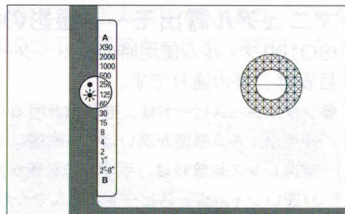
2 ファインダーをのぞき、ピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

- ファインダー内に、設定したシャッタースピードを示す赤いLEDが点灯し、適正露出のLEDが点滅します。
- LEDはシャッターボタンから指を離してから約20秒間表示されます。マニュアル露出時はシャッターボタン半押し後にAEロックボタンを押すと、その時点から約20秒間、LED表示が延長されます。

3 絞りリングやシャッタースピードダイヤルを回して、点灯と点滅の赤いLEDを合わせます。

- 設定したシャッタースピードを示す点灯LEDと、適正露出のシャッタースピードを示す点滅LEDが合うと、点滅が点灯に変わり、適正露出が得られます。
- マニュアル露出の場合、シャッタースピードは1段ずつ変化します。1段より少ない絞りで点灯/点滅する場合は、レンズの絞りリングで中間値を設定してください。

※極端に明るいものや暗いもの場合は、カメラの測光限界(EV1~EV18)を越えるため正確な露出表示ができません。



EV値とは (カメラの測光限界について)

EVとはExposure Valueの略で、他の撮影条件が一定のときに同一露出効果を与えるすべての露出時間とf値の組み合わせです。

フィルム感度 (ISO) 100のときを例にとりてf/1.4・1秒をEV1と定め、絞りを1段絞る (あるいはシャッタースピードを1段速くする) ごとに、EV値は1つずつ増えます。逆に、絞りを1段開ける (あるいはシャッタースピードを1段遅くする) ごとに、EV値は1つずつ減ります。

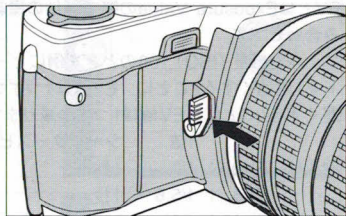
	f値	シャッタースピード
例えば、EV2	: f/2	・ 1秒
EV5	: f/5.6	・ 1秒
EV13	: f/8	・ 1/125秒、または
	f/5.6	・ 1/250秒

被写界深度の確認方法

セットした絞り値での被写界深度を、ファインダーをのぞいて確認できます。

- 1 絞りをセットしてから、絞込み(プレビュー)レバーを押し込みます。
- 2 ファインダーをのぞいて、被写界深度を確認します。

注意 絞込みレバーは十分に押してください。押し込んでいる間は、シャッターをきったり、フィルムを巻き上げたりしないでください。カメラの作動に不具合が生じたり、故障するおそれがあります。



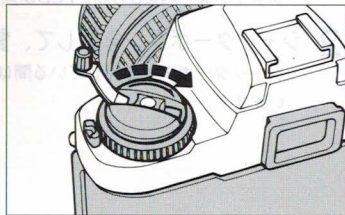
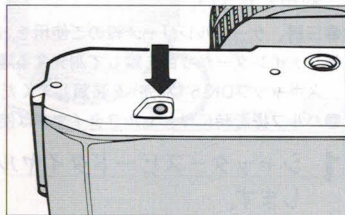
フィルムの巻戻し方

フィルムの巻戻し、取出しは直射日光の当たらないところで行ってください。

- 1** フィルムカウンターを確認してください。
…規定枚数を撮り終わったらフィルムを巻戻します。
- 2** カメラ底部の巻戻しボタンを押し込みます。
…巻戻しボタンは押し続ける必要はありません。
- 3** 巻戻しクランクを起こして、矢印方向に回します。
…巻戻しの手ごたえが急に軽くなったら、巻戻し完了です。
- 4** 巻戻しノブを引き上げて裏ぶたを開き、フィルムを取り出します。

- 巻戻しが完了するまでは、裏ぶたを開けないでください。
裏ぶたを開けるとフィルムに光が入り露光します。

注意 巻上げ途中でフィルム終端に達した場合は、巻上げレバーがロックされます。この場合は、力を入れて無理に巻上げないでください。フィルムを完全に巻き戻した後、いったん巻上げ操作を完了させてから元の位置に戻してください。



B(バルブ)撮影

夜景など1秒以上の長時間露光を必要とするときなどにご利用ください。

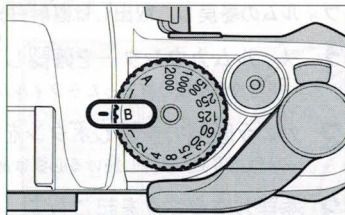
- 三脚、ケーブルリリース等のご使用をおすすめします。
- ファインダーから目を離して測光する場合には、必ずアイピースキャップDK-5(別売)を装着してください。
- バルブ撮影時には、セルフタイマーは使用できません。

1 シャッタースピードダイヤルを“B”にセットします。

…ファインダー内にBの赤いLEDが点灯します。

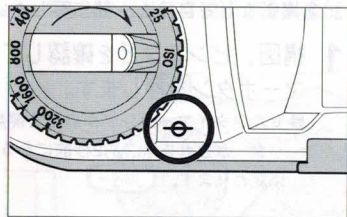
2 シャッターボタンを押して、露光を開始します。

…シャッターボタンを押している間は、シャッターが開いています。



距離基準マークについて

フィルム面の位置を確認するには
距離基準マークはフィルム面の位置を表わし、接写などで被写体までの距離を実測する場合は、ここから測ります。

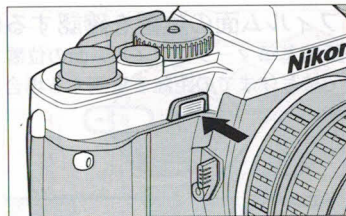


セルフタイマー撮影

記念撮影などで自分も一緒に写したいときに便利です。

1 構図、ピントなどを確認してから、セルフタイマーボタンを押します。

- セルフタイマーランプが点滅を開始し、約10秒後にシャッターがきれます。約2秒前になるとランプの点滅が点灯に変わります。
- セルフタイマーを途中で解除する場合は、シャッターボタンを押し込むか、シャッターダイヤルを“L”に合わせます。
- セルフタイマー使用時は、バルブ撮影はできません。
- カメラぶれを防ぐ目的でケーブルリリースの代わりに利用することもできます。

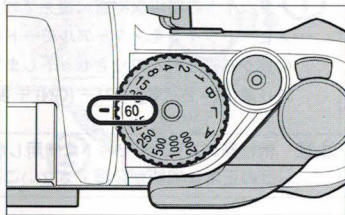


スピードライト撮影

ニコン製のスピードライトをご使用の場合は、アクセサリシューに差し込むだけで使用できます。
…詳細は、各スピードライトの使用説明書をご参照ください。

1 シャッタースピードダイヤルを“A”または1/60秒より低速にセットします。

- シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にX90または設定シャッタースピードの赤いLEDが点灯します。
- シャッタースピードダイヤルを“A”またはマニュアルで1/2000～1/125秒にセットした際は、スピードライトのスイッチをONにすることにより、自動的に同調速度のX90に切り換わります。マニュアルで1/60～1秒にセットした際は、設定した速度で制御されます。



スピードライト装着時のファインダー内LED表示について

- ①オート設定時：AとX90が点灯
- ②マニュアルで2000～125設定時：X90のみ点灯
- ③マニュアルで60～1設定時：設定したシャッタースピード秒時のみ点灯

スピードライト撮影

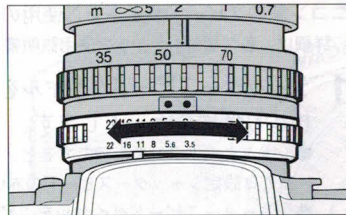
2 絞りをセットします。

…スピードライトを自動調光モードでご使用の場合は、スピードライトの使用説明書に従って絞りをセットします。

…スピードライトをマニュアルモードでご使用の場合は、下の式から得られる絞りをセットします。

$$\text{絞り値 (F)} = \text{ガイドナンバー (GN)} \div \text{撮影距離 (m)} \times \sqrt{\frac{\text{ISO}}{100}}$$

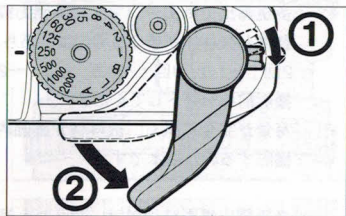
注意 他社製のスピードライトは使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないことがあります。



多重露出撮影

同一コマ上に複数回の露光を与えることにより、特殊な効果を出すことができます。

- 1** シャッターボタンを押して、1回目の撮影を行います。
- 2** 多重露出レバーを手前に止まる所まで引きながら、巻上げレバーでフィルムを巻き上げます。
…フィルムカウンターの数字が変わっていないことを確認してください。
- 3** シャッターボタンを押して、2回目の撮影を行います。



多重露出撮影

4 希望の回数だけ2~3の手順を繰り返します。

…多重露出では同一コマ上に何回も露出を与えるので、各撮影の露光量の合計が1コマの露光量となります。

背景と被写体が重なる場合は、あらかじめ露出補正しておく必要があります。次を目安に補正してください。

2回：-1.0、3回：-1.5、4回：-2.0

撮影前にテストしてください。

背景が完全に黒く、被写体が画面内で重ならない場合は、露出補正を行わずに、各露出ごとに適正露出で撮影するのが基本です。

※多重露出撮影時以外は、フィルム巻上げ時に多重露出レバーを動かさないように注意してください。

※多重露出撮影の際のフレームは極力ずれの生じないように配慮していますが、フィルムのカーリングやたるみ、巻き上げの緩急などにより、若干ずれることがあります。

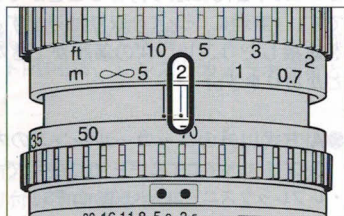
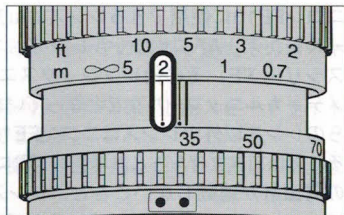
※フィルムを現像に出す際には、多重露出撮影していることを申し出てください。

赤外線撮影

赤外フィルムとフィルターを使用した赤外線撮影時には、目で見合わせていた場合とはピントの位置がずれるため、レンズの赤外指標（赤い線に黄色または緑色の点）で距離を補正します。

※赤外線撮影の詳細については、使用する赤外フィルムの使用説明書をご参照ください。

- 1 フィルターを付けていない状態でファインダーをのぞき、ピントを合わせます。
- 2 ピントが合った撮影距離を読み取り、その値を赤外指標に合わせます。
 - …レンズが広角(35mm)側のときは緑色の指標に合わせます。
 - …レンズが望遠(70mm)側のときは黄色の指標に合わせます。
- 3 R60などのフィルターを装着して撮影します。



使用レンズについて

ニコンFE10に使用できるレンズはAi方式ニッコールレンズ、AFニッコールレンズ、ニコンレンズシリーズE、その他レフレックスニッコール、メディカルニッコールなどとなっています。これらのレンズ以外のレンズはニコンFE10に使用することはできません。これはレンズとニコンFE10の露出計が連動しないことと、レンズによってはニコンFE10に取り付けることができないためです。(無理にレンズを取り付けますと、ボディを破損したり、レンズの着脱ができなくなることがあります。)

●Ai方式以外のニッコールレンズの内、次のレンズはすべてニコンFE10に使用できます。

- ・レフレックスニッコール500mmF8
- ・P Cニッコール28mmF3.5
- ・メディカルニッコール120mmF4

●その他のAi方式以外のニッコールレンズは、次のレンズのみニコンFE10に使用可能です。

- ・レフレックスニッコール1000mmF11は、製品No.140001～142360、およびNo.143001以降のもの
- ・レフレックスニッコール2000mmF11は、製品No.2000311以降のもの
- ・P Cニッコール28mmF4は、製品No.180901以降のもの
- ・P Cニッコール35mmF2.8は、製品No.851000以前のもの、およびNo.906201以降のもの
- ・ズームニッコールED180～600mmF8は、製品No.174167以降のもの
- ・ズームニッコール200～600mmF9.5は、製品No.300491以降のもの
- ・ズームニッコールED360～1200mmF11は、製品No.174088以降のもの

使用可能な別売りアクセサリー

スピードライト

ニコンスピードライトSB-27/26/22/16B等が、使用可能です。暗い場所での撮影や逆光でのポートレート撮影などに利用すると便利です。

- FE10のアクセサリースューはホットシュー（レディライト接点付）ですので、上記スピードライトはコード不要で、アクセサリースューに差し込むだけで接続できます。
- 上記スピードライトを使用される際は、外部調光がマニュアル撮影でご使用ください（詳しくは、ご使用の各スピードライトの使用説明書をご参照ください）。

接写アクセサリー

クローズアップレンズ（No.0、No.1、No.2）は、レンズの先端に取り付けて使用します。オート接写リング（PK-11A、PK-12、PK-13）、ベローズアタッチメントPB-6は、レンズとカメラボディとの間に取り付けて使用します。

ファインダーアクセサリー

接眼補助レンズ（9種類）、アイピースアダプター、マグニファイヤーDG-2、アイピースキャップDK-5、ケーブルリリースAR-3等は、接眼部およびカメラに取り付けて使用します。

カメラの取扱いについて



使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラ、
レンズの清浄に使用しないこと

火災や健康障害の原因となります。
製品を破損します。

■カメラに強いショックを与えない

カメラやレンズは精密機械です。落としたり、ぶついたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、シャッター幕に直接手を触れないでください。変形や破損などの原因となります。

■異物を入れない

カメラの開口部（マウント、裏ぶた等）から異物が入らないようにしてください。万一入ると故障の原因になります。

■水にぬらさない

このカメラは防水機構になっておりません。水にぬらさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能となることがあります。

■ミラーやレンズを手入れする際の注意

レンズやミラー、ファインダースクリーンにゴミやホコリが付いているときは、キズが付きやすいので、ブローアーでゴミやホコリを軽く吹き払う程度にしてください。万一指紋などが付いてしまった場合は、軟らかい清潔な布で軽く拭き取ってください。

■急激な温度変化を与えない

温度差が極端となる場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆になる場所)にカメラを持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

■カメラの手入れ方法

カメラを手入れする際は、ブローアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかな布で軽く拭いてください。特に、海辺などで使用した後は、真水を浸した布で塩分を拭きとってから手入れしてください。

■保管する際は乾燥剤と一緒に保管する

カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤(シリカゲルなど)と一緒にに入れて保管すると、より安全です。ただし、ソフトケースをビニール製の袋に入れておくと、ソフトケースが変質することがありますので避けてください。乾燥剤は湿気を吸って効力がなくなりますので、ときどき取り替えてください。

カメラの取扱いについて

■カメラは風通しのよい乾燥した場所に保管する

カメラを保管する際は、ナフタリンや樟脳の入ったタンスや磁気を発生する器具(テレビやラジオなど)のそばを避けて、風通しのよい乾燥した場所を選んで保管してください。

極度に高温となる場所(閉めきった車内やトランクの中、使用しているストーブの前など)にカメラを置かないでください。故障や破損の原因になります。

■分解しないでください

カメラが故障したときや、調子が悪いときでも絶対に分解しないでください。

■保管した後は

乾燥剤(シリカゲルなど)は湿気を吸って効力が無くなりますので、ときどき、取り替えてください。カメラ、レンズを長期間使用しないまま放置しておく、カビや故障の原因となることがあります。一カ月に一度を目安に電源を入れて、数回シャッターをきってください。

電池の取扱いについて

■カメラを長期間使用しないときは、電池を取り出して保管する

カメラを長期間使用しないときは、電池の漏液などからカメラを保護するため、カメラから電池を取り出して保管してください。20℃以下の湿度の低い所に保存してください。

■低温時には新しい電池を使う、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、露出表示が作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能で低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

- 電池を入れるときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてから、十、一を間違えないよう正しく入れてください。
- 電池を分解する、ショートさせる、加熱する、火の中へ入れるなどは、破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 電池を交換するときは、同一メーカーの同じ種類の新しい電池2本を同時に交換してください。誤った使い方は、電池寿命を短くしたり、接触不良等を引き起こす原因となります。

アフターサービスと保証について

■この製品についてのお問い合わせは

- ご意見、ご質問は、最寄りのニコンサービスセンター、サービスステーション等、当社サービス機関へお問い合わせください。
- 当社サービス機関につきましては、使用説明書裏表紙をご覧ください。

■修理を依頼される場合は

- ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品などの理由で、ご購入店に修理を依頼できない場合は、最寄りの販売店または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

- ニコンFE10の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間を目安としております。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても修理可能な場合もありますので、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。
 - 水没、火災、落下などによる故障または破損で、全損と認められた場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

■製品の保証について

- (1) この製品には「保証書」がついていますので、ご確認ください。
- (2) 「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様にお渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」及び「住所」「ご購入年月日」がすべて記入された「保証書」をお受け取りになり、内容をお読みの上、大切に保管してください。
- (3) 保証規定による保証修理は、ご購入から1年間となっております。「保証書」をお受け取りになりませんと上述の保証修理が受けられないこととなりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。
- (4) 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。
- (5) 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスについてご不明なことがありましたら、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

■使用説明書について

使用説明書が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有償）。

仕 様

型式：	35mm一眼レフレックスフォーカルプレーンシャッターカメラ
露出制御：	絞り優先オート／マニュアル
使用フィルム：	パトローネ入り35mmフィルム
画面サイズ：	24×36mm
レンズマウント：	ニコンFマウント
シャッター型式：	上下走行式フォーカルプレーン式電子制御シャッター
シャッタースピード：	オート時：8～1/2000秒（無段階電子制御） マニュアル時：B、1～1/2000秒
スピードライト同調速度：	オート時：1/90秒（ファインダー内X90点灯）、スピードライトON時自動切り換え マニュアル時：1/60秒以下で設定した速度で作動（1/2000～1/125秒はX90に切り換わり）
ファインダー：	ペンタプリズム使用、アイレベル式
ファインダースクリーン：	専用K型（スプリットマイクロ固定式）
ファインダー倍率：	約0.84倍（焦点距離50mm使用時で∞のとき）
ファインダー視野率：	約93%
ファインダー内表示：	16ドット赤色LEDによる点灯、点滅表示
撮影モード：	A、X90、B点灯
シャッタースピード（オート時）：	1/2000～1秒、2"～8"（13段階）点灯
シャッタースピード（マニュアル時）：	1/2000～1秒（12段階）点灯、B点灯
高輝度露出警告：	1/2000点滅
ミラー：	クイックリターン式
測光方式：	TTL中央部重点開放測光（絞り込み測光可）
測光範囲：	ISO100でEV1～18（50mm/F1.4レンズ使用時、F1.4、1秒～F11、1/2000秒）
フィルム巻上げ：	一作動レバー巻上げ式、二重巻上げ・二重露出防止機能付き

仕様

多重露出：	多重露出レバーにより可能
フィルム巻戻し：	巻戻しボタンおよび巻戻しクランクによる（巻戻しボタンは巻上げにより自動復帰）
フィルムカウンター：	順算式、裏ぶた開放により自動復帰
フィルム感度：	ISO25～3200、1/3段ステップでロック付き（マニュアルセット時100、400赤字）
露出補正：	ISO変更による、±2段（1/3段ステップ）目盛付
AEロック：	AEロックボタンによる（オート時）
セルフタイマー：	電子制御式、作動時間約10秒、再度シャッターボタンを押すことでキャンセル可能
アクセサリシュー：	ホットシューのみ（レディライト接点付き）
被写界深度確認：	絞り込みレバーによる
三脚ネジ穴：	1/4インチ（JIS規格）
電源：	1.5V、LR44型アルカリ電池2個、SR44型銀電池2個または3V、CR-1/3N型リチウム電池1個
電源スイッチ：	シャッタースピードダイヤルL位置で電源OFF フィルム巻き上げ時、シャッターボタンの半押しで電源ON
電源チェック：	シャッターボタン半押し時、LEDが点灯すれば使用可能
大きさ：	139（幅）×86（高）×53（奥行）mm
重量：	約400g（電池含まず）

※データはすべて、常温（20℃）、新品電池使用時のものです。

※仕様・外観の一部は、改善のため予告なしに変更することがあります。

株式会社 ニコン

本社	●100	・東京都千代田区丸の内3-2-3・富士ビル	☎東京	(03)3214-5311(案内台)
大森サービス課	●143	・東京都大田区大森北6-19-22	☎東京	(03)3764-2605
札幌	幌S.C. ●060	・札幌市中央区大通西1-13・大通ビル	☎札幌	(011)231-7896
仙台	台S.C. ●980	・仙台市青葉区本町1-3-8・及川パークビル7階	☎仙台	(022)227-1237
新潟	潟S.S. ●951	・新潟市西堀通5番町855・コーリンビル	☎新潟	(025)222-1461
大宮	宮S.S. ●330	・大宮市宮町2丁目10番・尾熊ビル6階	☎大宮	(048)644-8011
日本橋	橋S.C. ●103	・東京都中央区日本橋1-2-19・日本橋ファーストビル9階	☎東京	(03)3281-6810
新宿	宿S.C. ●163-08	・東京都新宿区西新宿2-4-1・新宿NSビル5階	☎東京	(03)5321-4466
横浜	浜S.S. ●220	・横浜市西区北幸2-5-15・日総第3ビル6階	☎横浜	(045)312-1101
静岡	岡S.S. ●420	・静岡市黒金町20-1・富士火災静岡ビル8階	☎静岡	(054)252-5853
名古屋	屋S.C. ●450	・名古屋市中村区名駅3-28-12・大名古屋ビル4階	☎名古屋	(052)563-2881
金沢	沢S.S. ●920	・金沢市尾山町3-18・金沢東京海上ビル	☎金沢	(0762)22-1201
大阪カメラサービス課	●542	・大阪市中央区南船場2-11-20・興国ビル	☎大阪	(06)251-7024
大阪・梅田	S.S. ●530	・大阪市北区梅田2-5-2・新サンケイビル1階	☎大阪	(06)348-9730
岡山	山S.S. ●700	・岡山市表町1丁目11番28号・中之町第3防災ビル4階	☎岡山	(086)225-6939
高松	松S.S. ●760	・香川県高松市古新町6-8・第3ミタケビル	☎高松	(0878)21-1321
広島	島S.C. ●730	・広島市中区中島町3-25・ニッセイ平和公園ビル9階	☎広島	(082)248-1216
福岡	岡S.C. ●810	・福岡市中央区天神2-12-1・天神ビル	☎福岡	(092)721-3561
鹿児島	島S.S. ●892	・鹿児島市山之口町2-1・安田火災海上鹿児島ビル7階	☎鹿児島	(099)224-1051

※S.C サービスセンター / S.S サービスステーション

<お客様相談室> ニコンカメラのお問い合わせ専用窓口です。
 ●100 東京都千代田区丸の内2-5-2 (三菱ビル1階) ☎(03)3216-1010
 営業日：土・日・祝祭日を除く毎日です。 営業時間：9:00～17:45

当社サービス機関について

使用説明書裏表紙に記載の当社サービス機関の一部が移転し、住所および電話番号が変更になりました。お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、以下のものをご利用くださいますようお願い申し上げます。

株式会社 **ニコン**

Nikon

本社 ●100 ・東京都千代田区丸の内3-2-3 ●富士ビル ☎東京(03)3214-5311(案内台)

大森サービス課 ●143 ・東京都大田区大森北6-19-22 ☎東京(03)3764-2605
札幌 S.C. ●060 ・札幌市中央区大通西1-13 ・大通ビル ☎札幌(011)231-7896
仙台 S.C. ●980 ・仙台市青葉区本町1-3-8 ・及川パークビル7階 ☎仙台(022)227-1237
新潟 S.S. ●951 ・新潟市上大川前通6-1179-1 ・日本生命新潟証谷小路ビル3階 ☎新潟(025)222-1461
大宮 S.S. ●330 ・大宮市宮町2丁目10番 ・尾熊ビル6階 ☎大宮(048)644-8011
なお、大宮S.S.は1997年3月17日から下記の新住所で営業開始いたします。
電話番号は従来通りです。

大宮市吉敷町1-92-3 ・至誠堂ビル2階 ☎大宮(048)644-8011

日本橋 S.C. ●103 ・東京都中央区日本橋1-2-19 ・日本橋ファーストビル9階 ☎東京(03)3281-6810
新宿 S.C. ●163-08 ・東京都新宿区西新宿2-4-1 ・新宿NSビル5階 ☎東京(03)5321-4466
横浜 S.S. ●221 ・横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 ・TSプラザビル4階 ☎横浜(045)312-1101
静岡 S.S. ●420 ・静岡市常盤町2-13-1 ・住友生命静岡常盤町ビル3階 ☎静岡(054)252-5853
名古屋 S.C. ●460 ・名古屋市中区丸の内3-20-17 ・中外東京海上ビル6階 ☎名古屋(052)954-0122
金沢 S.S. ●920 ・金沢市尾山町3-18 ・金沢東京海上ビル ☎金沢(0762)22-1201
大坂カメラサービス課 ●542 ・大阪市中央区南船場2-11-20 ・興国ビル ☎大阪(06)251-7024
大阪・梅田 S.S. ●530 ・大阪市北区梅田2-5-2 ・新サンケイビル1階 ☎大阪(06)348-9730
岡山 S.S. ●700 ・岡山市番山町9-19 ・岡山大同生命ビル6階 ☎岡山(086)225-6939
高松 S.S. ●760 ・香川県高松市古新町6-8 ・第3ミタケビル ☎高松(0878)21-1321
広島 S.C. ●730 ・広島市中区中島町3-25 ・ニッセイ平和公園ビル9階 ☎広島(082)248-1216
福岡 S.C. ●812 ・福岡市博多区博多駅前1-4-1 ・博多駅前第一生命ビル1階 ☎福岡(092)415-6350
鹿児島 S.S. ●892 ・鹿児島市山之口町2-1 ・安田火災海上鹿児島ビル7階 ☎鹿児島(099)224-1051

※S.C サービスセンター / S.S サービスステーション

＜お客様相談室＞ ニコンカメラのお問い合わせ専用窓口です。

●100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル1階) ☎(03)3216-1010

営業日：土・日・祝祭日を除く毎日です。

営業時間：9:00～17:45

サービス網のご案内

ニコンでは、ニコンご愛用の皆さまへのサービスのため、全国 18ヶ所にサービスセンター、サービスステーション等を設けております。ニコン製品についてのご質問、ご相談をはじめ、点検・修理など、お気軽にご利用ください。

★印では、皆さまのお手に取ってお確かめいただけますよう、ニコン製品を展示しております。お気軽にお越しください。なお、同所では、販売はいたしていません。

●または★では、修理サービスの受け付けを行っております。

各サービスセンター、サービスステーション等の営業日、営業時間は場所別に図とともに記載され

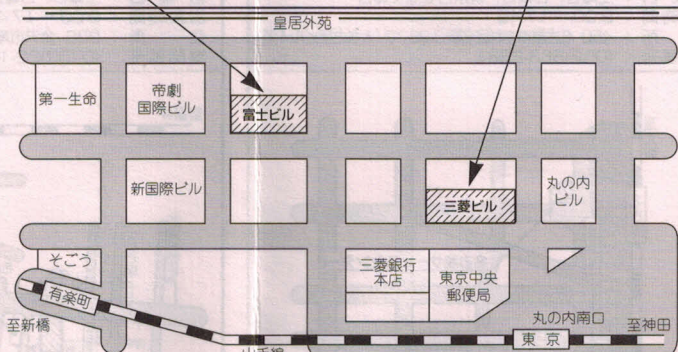
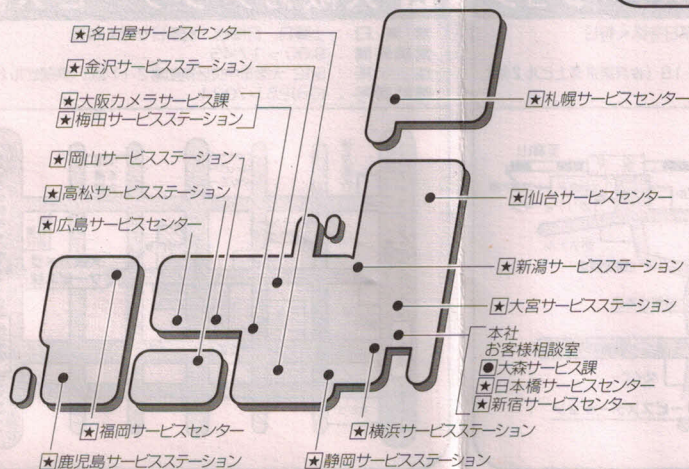
ておりますが、年末年始、ゴールデンウィーク、夏期休暇およびビルの休館等により多少の変動を生じることがございます。また各所とも祝祭日の都合により不定期（年間で6日程度）に土曜日でも営業している場合がございますので、ご来所の折には前もって電話にてご確認をお願いします。

本 社

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：100 千代田区丸の内 3-2-3
(富士ビル 4・5・6階)
電話番号：(03)3214-5311(案内台)

お客様相談室

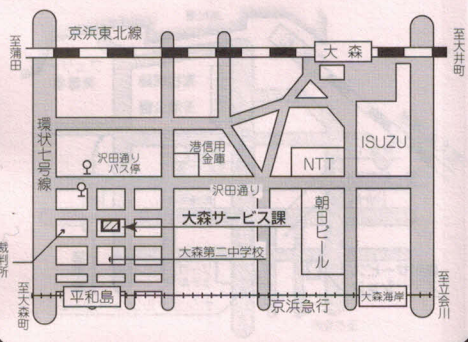
営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：100 千代田区丸の内 2-5-2
(三菱ビル 1階)
電話番号：(03)3216-1010



本社は、展示品、修理サービス等の受け付けはおこなっておりません。あらかじめご了承ください。

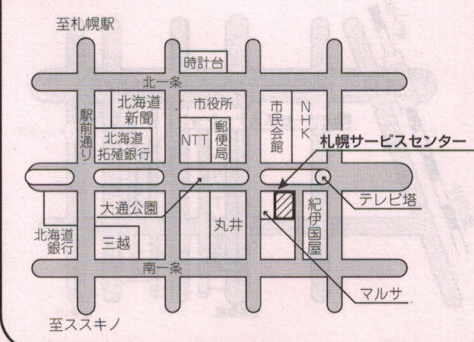
大森サービス課

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：8:45～17:30
住 所：143 大田区大森北 6-19-22
電話番号：(03)3764-2605



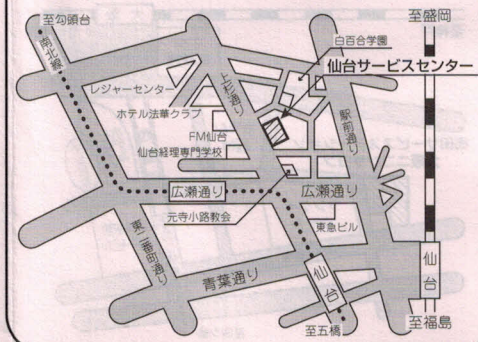
札幌サービスセンター

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：060 札幌市中央区大通西 1-13 (大通ビル2階)
電話番号：(011)231-7896



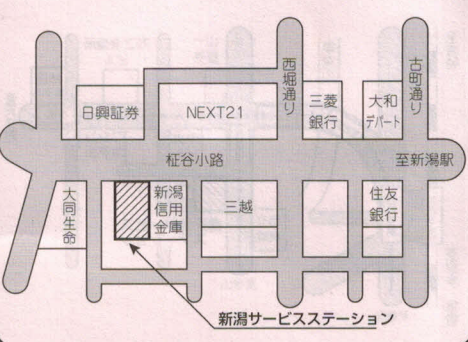
仙台サービスセンター

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：980 仙台市青葉区本町 1-3-8 (及川パークビル7階)
電話番号：(022) 227-1237



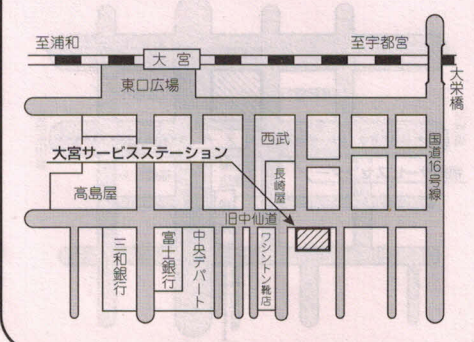
新潟サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：951 新潟市西堀通5番地 855(コーリンビル4階)
電話番号：(025)222-1461



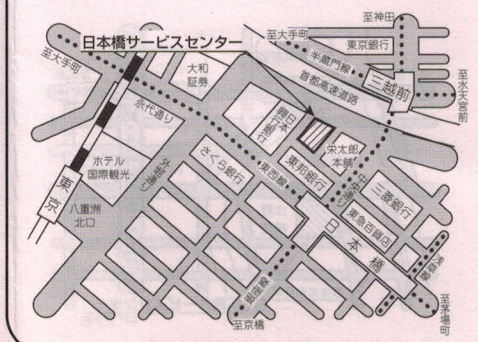
大宮サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：9:00～17:45
住 所：330 大宮市宮町 2-10 (尾熊ビル6階)
電話番号：(048)644-8011



日本橋サービスセンター

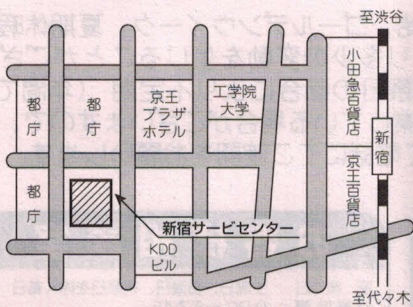
営業日：日曜日、祝祭日を除く毎日
営業時間：10:00～18:00
住 所：103 中央区日本橋 1-2-19 (日本橋ファーストビル9階)
電話番号：(03)3281-6810



■ 新宿サービスセンター

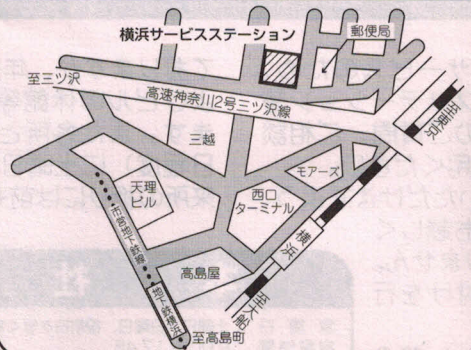
営業日：年中無休(注)
 営業時間：10:00～18:00
 住所：163-08 新宿区西新宿2-4-1 (新宿NSビル5階)
 電話番号：(03)5321-4466

(注) 年末年始、2月の第4日曜とその翌日および8月の第1日曜とその翌日を除く。



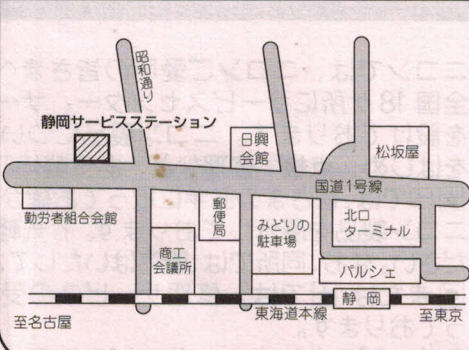
★ 横浜サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：221 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSフラザビル4階)
 電話番号：(045)312-1101



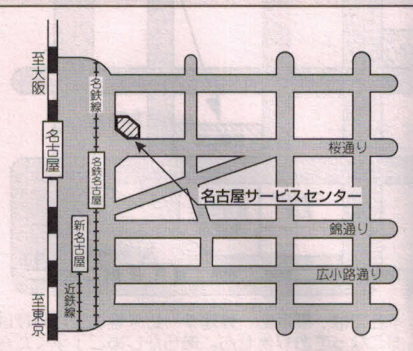
★ 静岡サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：420 静岡市常盤町2-13-1 (住友生命静岡常盤町ビル3階)
 電話番号：(054)252-5853



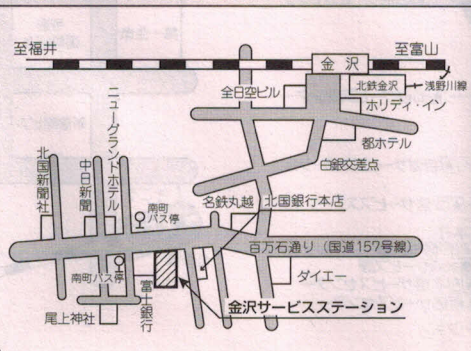
★ 名古屋サービスセンター

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：450 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル4階)
 電話番号：(052)563-2881



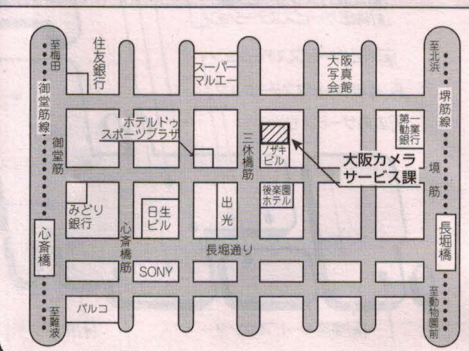
★ 金沢サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：920 金沢市尾山町3-18 (金沢東京海上ビル2階)
 電話番号：(0762)22-1201



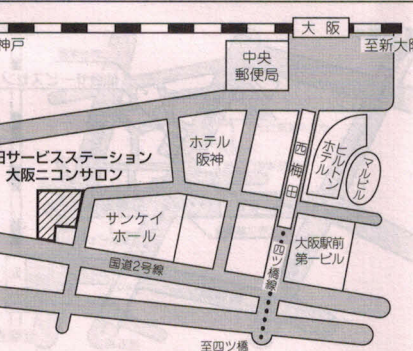
★ 大阪カメラサービス課

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：542 大阪市中央区南船場2-11-20 (興国ビル2階)
 電話番号：(06)251-7024



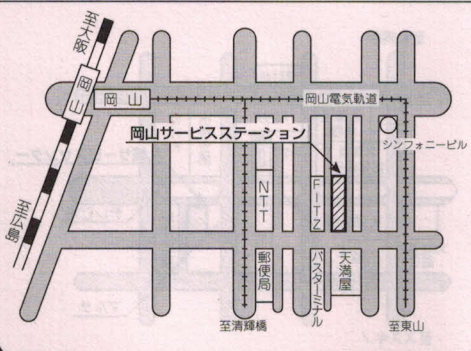
★ 梅田サービスステーション

営業日：水曜日を除く毎日
 営業時間：10:00～18:00
 住所：530 大阪市北区梅田2-5-2 (新サンケイビル1階)
 ニコンプラザ大阪
 電話番号：(06)348-9730



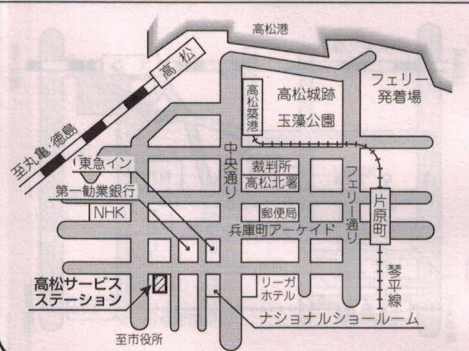
★ 岡山サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：700 岡山市表町1-11-28 (中之町第3防災ビル4階)
 電話番号：(086)225-6939



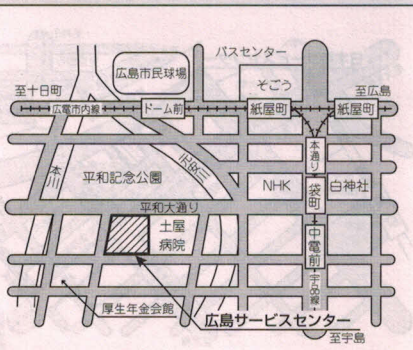
★ 高松サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：760 高松市古新町6-8 (第3ミタケビル4階)
 電話番号：(0878)21-1321



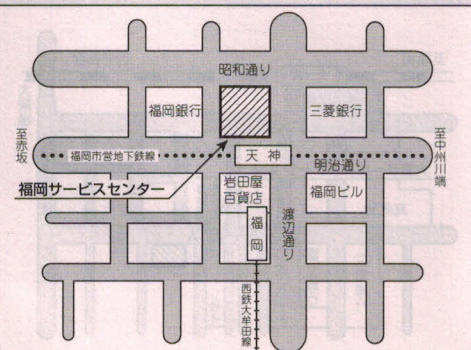
★ 広島サービスセンター

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：730 広島市中区中島町3-25 (ニッセイ平和公園ビル9階)
 電話番号：(082)248-1216



★ 福岡サービスセンター

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：810 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル4階)
 電話番号：(092)721-3561



★ 鹿児島サービスステーション

営業日：土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日
 営業時間：9:00～17:45
 住所：892 鹿児島市山之口町2-1 (安田火災海上鹿児島ビル7階)
 電話番号：(099)224-1051

